

## 質問書

2003. 5. 29 栗林勝彦

東京外郭環状道路（以下外環）の将来交通量について質問いたします。

問1. 将来交通量予測のための設定条件を明らかにしてください。

①配分のための道路ネットワーク

中央環状道路や圏央道と外環とのネットワークの関係（整備状況）が不明です。配分に際し、どのようにケース別のネットワーク想定をしましたか。ネット図でお示してください。また、公になっている将来交通量予測値は、いかなるケースの想定ですか。

②発生集中交通量原単位の考え方

国交省は2025～30年をピークに交通量が減少すると発表しています。この結果は、配分のための発生集中交通量原単位やゾーン別発生集中交通量に反映されていますか。

③外環沿線ゾーンの将来想定土地利用を示してください。

④外環の料金設定をどのように考えていますか。（＝料金抵抗の設定）

問2. 将来交通量予測値をケース別に示してください。

①想定ケースは、外環の有り無しと中央環状、圏央道との関係で示してください。

②東名JCT周辺の予測値の希望地点は以下の通りです。

環状8号（用賀～瀬田）（用賀～千歳台）

首都高速3号線（用賀～三軒茶屋）

③上記地点の内回り、外回り別「日交通量」

以上

国交省が協議会に提出した資料によれば、外環の断面交通量は、

インター無しで、6.6～8.8万/日、インターありで 7.6～10.9万/日

H11の調査によれば、日交通量は、

東名道 121.780/日、第3京浜 87.119/日、世田谷通 28.147/日

東名JCTに於ける、東名+外環 13.2～13.5万（川崎側）

東名+外環 8.8～9.3万

世田谷通IC利用は 1.2万/日 となっている。

★ICが出来た場合の世田谷通の予想交通量を提示してください。また、世田谷通の設計交通容量の最大値は何台ですか。

☆昨年6月24日開催の社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会で公表された「自動車の交通需要予測」の冒頭に、「今後、この全国の交通需要予測を前提条件として、公団など各機関において個別の路線の交通量推計を実施します」と書かれています。同じく、結論として、「旅客、貨物あわせた総交通量は2020～2030に、現在の16%増をピークに減少します」と結んでいます。

前回協議会に於ける一協議員の「H11のOD実測値を外環に配分したに過ぎない」との発言にもあるように、国交省が提示した資料には外環交通量予測値の算出根拠が明確に説明されていません。外環は永久的な道路施設であり、また多大な国民負担を伴う公共事業計画でもある故に、国の責任に於て公表された交通需要予測に基づいて、外環の将来交通量をどう見るかは、必要性の議論に於ける国の避けられない責務であると考えます。